

2019年度公立高校入試 各校選考基準公表される

※選考基準比率は 調査書:学力検査:面接

P_{oint}1 光陵が特色検査廃止

P_{oint}2 希望ヶ丘が特色検査比率を2から1へダウン、 検査時間を50分から60分へ 平塚江南も検査時間を60分へ

P_{oint}3 県立進学重点校4校の特色検査は共通問題と共通選択問題で 実施。検査時間は60分

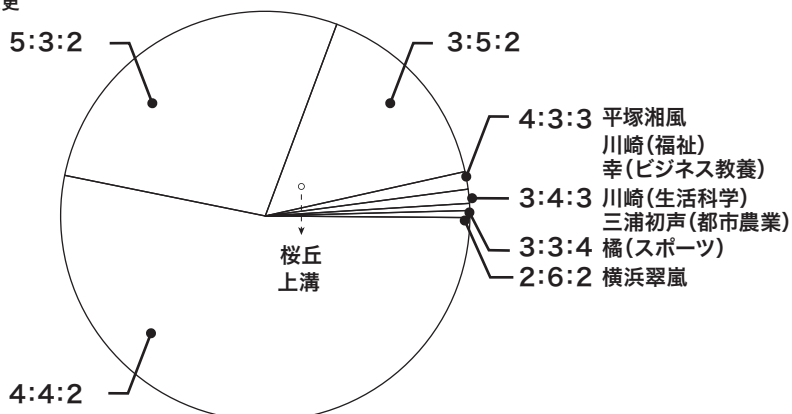
進学重点校	1次選考比率	特色検査評価の観点	特色検査の概要(4校共通)
湘南	3:5:2:1	・論理的思考力・判断力・表現力	提示された文章や資料を読み取り、中学校までに習得した知識・技能を教科横断的に活用して、問題を解決する思考力・判断力・表現力や創造力等を把握するための検査を行う。 ・検査時間は60分とする。
横浜翠嵐	2:6:2:2	・情報活用能力 (湘南・横浜翠嵐は以下も)	
厚木	3:5:2:2	・創造力及び想像力	
柏陽	3:5:2:2	・科学的思考力・判断力・表現力	

P_{oint}4 横浜国際 国際バカロレアコースは 筆記型自己表現検査も実施。

選考基準比率(調査書:学力検査:面接:特色検査)				
国際科本体(第1回目選考)	国際バカロレアコース			
4:4:2:3	4:4:2:2:2			
調査書 英×2	学力検査 英×2	実技 (英問英答)	学力検査 英×2	実技 自己表現 (筆記型60分)

P_{oint}5 1次選考比率はバランス型(4:4:2)が104学科コース

○ 昨年からの
↓ 比率変更



神奈川県教育委員会は、6月12日(火)に2019年度入試の選考基準を公表しました。クリエイティブスクールを除く全日制学科・コースの募集は196です。選考比率や重点化、面接の評価の観点の変更をした学科・コースは現行制度下では最も少なかった一方、進学重点校の特色検査が共通問題・共通選択問題で実施されるなど、自己表現検査で大きな変更がありました。また、新設される横浜国際国際バカロレアコース(仮称)は、実技と自己表現活動の2つを課す、初めての選考となります。学力検査は2月14日、合格発表は2月27日です。

各校の選考基準は神奈川県教育委員会ホームページに掲載されています。志望校の選考基準をしっかりとチェックしましょう。